

北海道大学附属図書館・大学文書館共催展示

北大生の学生群像 第Ⅲ期  
戦前期の北大生の学生生活  
— 北大生、世界と格闘する —

第一農場のエルムの鐘（一九三〇年代後半／長谷場国道旧蔵資料より）

期間： 2012年3月31日～7月31日

場所： 北海道大学附属図書館 正面玄関ロビー（北8条西5丁目）

【お問い合わせ先】北海道大学大学文書館 TEL011-706-2395

## 北海道大学附属図書館・大学文書館共催展示「北大生の学生群像第Ⅲ期

### 戦前期の北大生の学生生活―北大生、世界と格闘する―を開催

3月31日から、附属図書館2階正面玄関ロビーにおいて、附属図書館・大学文書館共催展示「北大生の学生群像」(全4期)の第Ⅲ期として、「戦前期の北大生の学生生活―北大生、世界と格闘する―」を開催しています。

1876年に札幌農学校が開校して以来、北大は135年以上の歩みを続けてきました。今回の展示では、札幌農学校が東北帝国大学農科大学として帝国大学に昇格した1907年から、北海道帝国大学として独立し、1945年に終戦を迎えるまでの北大生の生活を展示します。

この間、北大は従来の農学部に加え医・工・理学部を開設しましたが、学部以外にも、旧制高等学校に当たる予科、技術者養成に主眼を置いた農学実科・林学実科・土木専門部・水産専門部・医学専門部などがあり、学生生徒数は札幌農学校時代の500名から4,000名以上へと急増しました。

この時期、北大生は様々な世界と格闘を続けていました。学問、文化、スポーツの世界はもちろん、中国・台湾・朝鮮・モンゴル・タイ・インドから国境と言語・文化の違いを越えて留学生が入学し、制度的に帝国大学への入学が認められていなかった女性たちが実力でその門戸をこじ開けていきました。そして戦争。第二次世界大戦下、ある者は戦地へ赴き、ある者は無実の罪をきせられ、ある者は勤労作業に借り出され、そんな中でも研究に打ち込んだ者もいました。

活気に満ちた時代にあっても、困難な時代にあっても、北大生は常に力強い歩みを続けていました。

展示は7月31日(火)まで開催しています。ぜひ、ご一覧下さい。

展 示 名: 「北大生の学生群像 第Ⅲ期

戦前期の北大生の学生生活―北大生、世界と格闘する―」

期 間: 2012年3月31日(土) ~ 2012年7月31日(火)

場 所: 北海道大学附属図書館2階 正面玄関ロビー(札幌市北区北8条西5丁目)

共 催: 北海道大学附属図書館・北海道大学大学文書館

#### 【お問い合わせ先】

#### 北海道大学大学文書館

<住所> 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

<電話・ファックス> 011-706-2395

<メールアドレス> archives@general.hokudai.ac.jp

<URL> <http://www.hokudai.ac.jp/bunsyo/>